

森林の生き物調査から発展する活動

タケ伐採

混みすぎたタケ林に手入れをします。ここでは、炭焼きの材料にするために長さ 80cm に切って割るところまで活動に入れています。

○実施例

実施時期：秋 時間：90 分 実施場所：竹林 指導者：2 名 児童：30 名
ね ら い：自然に人間が手を入れることを体験し、地域の自然と自分の生活とのつながりに気付く。

プログラムの展開

時 間	活 動	備 考
導 入 (25 分)	あいさつ 活動説明 諸注意	服装と安全指導（特に道具使用）
移 動 (5 分)		5 ～ 6 名のグループで竹林へ移動
活 動 (60 分)	タケ伐採 ・タケを伐採する ・タケを広場に搬出する タケ割り ・長さ 80cm に切る ・タケ割り器で割る ・節を除去して集積する	2 ～ 3 人の 2 チームに分かれる 交代でノコギリをひく チームで協力して搬出する 炭焼きのために割る さし棒を当てて 80cm の印を付けて 切る 割ったタケで顔を突かないよう注意
まとめ (20 分)	お話「雑木林と私たち」 まとめ	雑木林と人々の暮らしへの興味と関心を喚起

道 具 ：竹挽きノコ、さし棒（80cm 長の棒）、タケ割り器
持ち物 ：タオル、軍手
準 備 ：実施場所の安全確認